

～受賞おめでとうございます～

山形県ベストアグリ賞・東北農政局長賞

渡辺 誠一氏（大江町）

渡辺氏は自らすももの育種を行い、10種類以上のオリジナル品種・系統を開発し、7月から10月までの長期出荷を可能にするとともに、収量性が高く省力的な新たな樹の仕立て方を開発することにより、新たにすもも栽培に取り組む農家が増え、産地形成に寄与されました。

また、大江町新規就農者受入組織「OSINの会」の設立を先導し、研修生の受け入れを行い、多くの新規就農者が就農し、耕作放棄地の減少や人口減少の抑制に貢献していることなどが高く評価されました。



やまがたフラワーフェスティバル2025金賞

荒木 繁蔵氏（寒河江市）

荒木氏は、寒河江市バラ部会の部会長を務め、約50年続く寒河江市のバラを牽引しています。品評会では、ボリュームのある花と茎葉のバランスが優れている点が評価され、バラ「デニチエ」で金賞を受賞しました。

お知らせ

「むらやま米フォーラム2026」開催のお知らせ

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動村山地域本部では、産米の安定生産の実現のため、気象や土づくりの観点から今年の水稻の生育を振り返り、令和8年度の栽培管理、今後の展望について研修会を行います。

【日 時】令和8年1月27日(火)

午後1時15分～午後3時45分

【場 所】山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」2階

大会議室

【内 容】基調講演、つや姫栽培講習会、

水稻新品種「ゆきまんてん」の試食等

【問合せ】0237-86-8287

「令和7年度西村山地域農業担い手研修会」を開催します

新規就農者や就農予定者が抱えている今後の経営に関する不安や課題を解決するため、地域のベテラン農業者や支援機関からアドバイスをいただく研修会を開催します。

【日 時】令和8年1月14日(水)

午後2時30分～午後5時15分(予定)

【場 所】ホテルサンチェリー

【内 容】講演(テーマ「農福連携」)、新規就農者と農業士の交流・相談会

【問合せ】0237-86-8248

令和8年度農業実践者セミナー受講者募集

【期 間】令和8年4月中旬～令和9年3月中旬

【場 所】庁舎内または現地

【対象者】20～50歳ぐらいまでの方で新規に就農を予定している方、就農して5年程度までの方

【コース】稻作、果樹、野菜、花き、農業簿記(パソコン)

【問合せ】西村山農業技術普及課(☎ 86-8248)

NOSAI各種保険への加入をお勧めします

頻発・激甚化する自然災害へ備え、農業・農村の持続的な発展を支えるべく、NOSAIでは、果樹共済・園芸施設共済への加入を勧めるとともに、農作物の収入減少を補填する収入保険の加入を募集しております。

詳しくは、山形県農業共済組合本所まで
(☎ 023-656-8988)

西村山稻作情報のご紹介

当課では、LINEによる稻作の情報提供を行っています。

水稻の生育状況や高温への対応技術などについて、素早く情報を得ることができます。QRコードからご登録の上、是非ご活用ください！



普及だより

第124号

令和8年1月1日

西村山農業技術普及課

〒991-8501

寒河江市大字西根字石川西 355

電話 0237-86-8214

FAX 0237-86-8247

異常気象に対応する栽培技術の普及に向けて



大豆の畝間灌水



散水氷結法による凍霜害対策



啓翁桜の山上げによる低温処理



マメヨバチ繭洗浄講習会



備えを積み重ね、さらなる前進の年へ！



西村山農業技術普及課 課長補佐 山田 美里

明けましておめでとうございます。

昨年は6月～8月は高温、特に6、7月は少雨も重なり、さくらんぼをはじめとする農作物の生育に大きな影響を及ぼしました。また、昨年の秋はクマによる人的被害が全国的に多発し、営農面でも予期しない危機に直面することが増え、一年を通して栽培管理に御苦労されたことと思います。

農業は言うまでもなく、日々変化する気象への対応が重要です。毎年、異常気象への対応が必要となっている中で、備える技術としては、上記写真のように、大豆の畝間灌水の実施、さくらんぼの結実確保に向け、効果的な凍霜害対策と訪花昆虫の確保などが挙げられます。異常気象が常態化する中、普及課では「異常気象に負けない営農の実現」を最重要課題として、現場で使える技術の普及に一層努めてまいります。

令和8年は午年です。午の年は「駆ける」「前進する」といったイメージがあります。私たちもこの年を節目に、新しい技術の活用を積極的に支援するとともに、備えを固めながら、皆様の実りにつなげていきたいと考えています。

地域の皆様とのつながりを大切に、未来への飛躍・発展に向けて着実に前進できるよう、関係機関と連携を図りながら支援をしてまいります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

令和7年度の取組を振り返って

作物

酷暑に負けない米の良食味安定生産に向けて

温暖化等の影響で水稻の栽培管理が煩雑化しています。当課では、講習会などの従来の活動に加え、衛星画像を活用した生育診断など、新たな技術の普及推進を図り、西村山の良食味米安定生産を支援しました。



野菜

異常気象に対応したえだまめの良食味・安定生産を目指して

近年は、高温等異常気象によるえだまめの減収や品質低下が課題になっており、今年もこれまでにない異常高温乾燥に見舞われました。当課では、良食味・安定生産を目指した対応技術として、緩効性窒素肥料と硫酸加里の追肥、乾燥時の灌水の取組を支援しました。



果樹

「やまがた紅王」の大玉生産に向けて

「やまがた紅王」の樹冠拡大に伴い、生産量が年々増加しています。そこで、普及課では農協と連携して、「やまがた紅王」に特化した剪定講習会や摘果講習会を開催し、大玉生産を支援しました。



畜産

子実用トウモロコシで耕畜連携を支援

子実用トウモロコシは、耕起、播種、除草、収穫など少ない作業で栽培ができます。西村山では約3ha栽培され、畜産利用されています。県では収穫機械を生産利用推進協議会より無償で貸し出しています。当課では、子実用トウモロコシの収量の向上と家畜への給与まで支援を行っています。



農村資源活用

農産加工品の商品開発や販売支援

加工品開発に関する加工技術研修会や商品力向上・販路拡大に向けたセミナーを開催し、新商品開発や販売力強化を支援しました。また、西村山地域の伝統食品である「凍みもち」の加工技術継承に向けた取組を行っています。



花き

「啓翁桜」の品質向上に向けて

「啓翁桜」では、高齢化に伴い、1生産者あたりの面積の拡大及び労働力不足による品質低下が見られています。そこで、省力化花芽着生技術の普及推進を図り、高品質・安定生産を支援しました。



経営

地域農業を支える担い手の育成支援

新規就農や就農後の定着、意欲ある農業者の経営改善等、地域の担い手育成に向けて関係機関等と連携し、個別相談や専門家の派遣、研修会の企画・開催等を通じて経営発展を目指す取組を支援しました。



雪害対策作業時の安全確保に注意!

- 施設の点検や除雪作業は、施設の倒壊等の恐れがないか、作業する足下に危険はないか、落雪の恐れはないか等、十分に安全確認してから行いましょう。



- 園地の確認や除雪作業等は、万一の事故に備え、複数人で行いましょう。



- 除雪機等を使用する場合は、周囲の安全や機械操作に十分注意し、農作業事故防止対策を徹底しましょう。特に、詰まった雪を取り除く場合は、必ずエンジンを止めて、ロータリーが停止したことを確認してから行いましょう。

新規会員募集!

西村山地方農業青年クラブ会員

当クラブは、青年農業者を中心とした組織で、県内外の4HCとの交流や、視察研修・会員の圃場巡回を通じて、知識・技術の向上を図っています。

当クラブと一緒に活動してみませんか。

主な活動: 視察研修(直売所、先進農家の視察、会員圃場巡回)、講習会、交流会

ご興味ある方は担当(TEL: 86-8287)までご連絡ください。



西村山若手さくらんぼ研究会

西村山地域では、若手のさくらんぼ生産者が研究会を立ち上げ、勉強会を開催したり、他地域の研究会と交流を行ったりすることで、高品質生産に努めています。また、さくらんぼ最強王者決定戦を企画し、互いに切磋琢磨しながら、品質や箱詰め技術向上を図っています。

入会の御相談や問い合わせは(TEL: 86-8301)までご連絡ください。



西村山地方農業士会の活動紹介

農業士会は、各市町より推薦を受け、知事より認定を受けた指導農業士22名、青年農業士16名で活動をしております。先進的経営を実践し地域農業をけん引しながら、新規就農者の支援や地域農業の発展に寄与しております。また、東北・北海道や県内の農業士と交流し研鑽を積んでおります。8月には農業経営研修会を開催し、天童市の株おしの農場、中山町の株鎌田農園を視察しました。今後は新規就農者の就農相談会や農業セミナーを開催します。



あぐりん

<http://agrin.jp/>
やまがたアグリネット

スマホ画面にも対応(トップページ)
【充実したコンテンツ】

- 農作業アラート
低温・高温のアラートをメールでお知らせ
- 病害虫診断防除支援システムなど

Facebookページはこちらから▶
[f やまがたアグリネット Facebook](#)

